

# 県重要文化財 極楽寺本堂

指定 平成9年 東町

守り・伝える・文化財 ⑪



▲近年の修復の際に板戸も古い姿に復元されました

東町本通りを東に突き当たると、田山麓に浄土宗極楽寺があります。法然上人の法孫良忠上人によって船木村現三原市本郷町に開かれ、小早川隆景によって三原城築城に当たり、城下町整備のために移転させられた寺の一つです。

江戸時代中期に建立された本堂は、仏を安置する内陣と礼拝する外陣が同じ高さで作られ、その境界である取り払い可能な木柵状建具の結界が当時のまま残り、浄土宗本堂の原型をとどめている貴重な建物です。背面の屋根は広島県の近世社建築の特徴を示す鍛葺きです。

三原の神明市は、城下町の建設以来とされ、年々の豊凶を占う市といわれます。市にだるまが登場するのはいつごろか分かりませんが、明治期にはみられ、豆絞りの鉢巻きに上り目のキリツとした顔つきで江戸だ



極楽寺住職

石井章道さん

「ますます、充実させたいですね。いろいろなだるまの情報を教えてください」

問い合わせ先

極楽寺(☎0848@2985)

るまと呼ばれる。後に鉢巻きのない小型のかわいい顔をしただるまも地元で作って売られ、家族の数だけ購入して名前を書き一年間神棚に供える風習も普及しました。戦後は他地域のもので並ぶようになり、制作は一時途絶えましたが現在、有志により江戸だるまが復活され、干支だるまなど、工夫をこらした新しい分野も開拓しています。

桃山時代の姿を伝える市重要文化財の山門の隣にある二階建ての建物は「青山コレクシヨン達磨記念堂」で、神明市のだるまとの関わりで収集された住職石井章道さんのコレクシヨンに加えて、東広島市の故青山昭美さんの膨大なコレクシヨンが収納されています。だるまにちなんだ品々も展示され、実際に発売されただるまそのものの切符や大漁旗という珍品もあります。石井章道さんは「中国から伝わっただるまですが、七転び八起き、日本人の意識によほどあったのか、いろいろなかたちで生活の隅々まで入っていますね。次はどんな発見があるか楽しみです」と語り、だるまへの熱い思いが伝わってきました。

### 税の納期

- ◎固定資産税・都市計画税第4期
- ◎国民健康保険税第8期
- ◎介護保険料普通徴収(第8期)

納期限 2月29日(金)

※税金・保険料は納期限までに納めましょう。

### だるま制作体験教室

①だるま制作体験教室(初心者向け4日間コース)

とき 6日(水)・13日(水)・20日(水)・27日(水) 10時～12時

②だるま面相書教室

とき 23日(土) 10時～12時

ところ いずれも三原だるま工房(港町一丁目)

定員 各8人(申し込み先着順)

参加料 各500円

申し込み先 三原観光協会

(☎0848@1481 FAX 0848@5911)

### 市民憲章

わたしたちは、海・山・空 夢ひらくまち三原をめざして、この憲章を定めよう。

- 一 豊かな自然をいかし、美しいまちにしよう。
- 一 歴史と文化を大切に、人をはぐくみ、まちにしよう。
- 一 みんなで助け合い、人がふれあうまちにしよう。
- 一 心もからだも健康で、明るいまちにしよう。
- 一 楽しく働き、活力あるまちにしよう。

### 三原市の人口

(12月31日現在)

世帯数	43,676世帯 (+275)
人口	104,663人 (-656)
男	50,261人 (-282)
女	54,402人 (-374)

( )内は前年同月との比較

### あ・と・が・き

市民ビーチボール大会の取材に行ってきた。当日は、雪交じりの雨が降る天候でしたが、会場となったリジヨンプラザには熱気が充満。試合前に円陣を組み、気合を入るチームや、ポイントを奪うたびにチームメイトに声をかけあう風景など、地区対抗で行われ、子どもから大人まで参加した大会の盛り上がり、思わず熱くなりました。選手や関係者の皆さん、お疲れさまでした。振り返ってみれば、スポーツもしばらくやってないなあと反省。この取材で感じた盛り上がりや、忘れないうちに、出場していた選手の皆さんのようにとまではいかなくても、とりあえず体を動かして、毎日続けることができるものを探そうと思います。(あ)

